

SHS-500 リファレンスマニュアル

もくじ

ファンクション

チューニング

EQタイプ

モジュレーション

ピッチベンドレンジ

ポルタメント

ポルタメントタイム

DSPタイプ

MIDIセレクト

MIDIチャンネル

ローカル

オーディオループバック

バッテリータイプ

オートパワーオフ

端子の使い方

PHONES

AUX IN

LINE OUT

TO HOST

- オーディオデータ—USBオーディオインターフェース機能

- MIDIデータ

MIDI

困ったときは

楽器音色リスト

- ドラムキットリスト

音色パラメーター

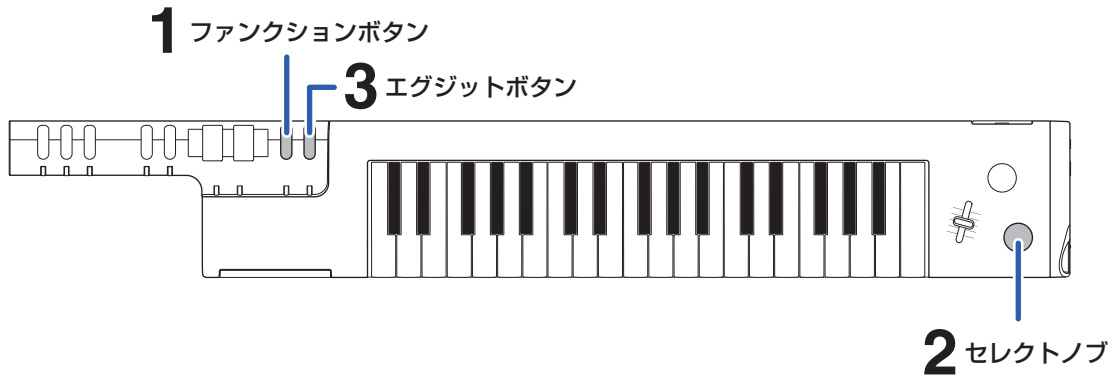
エフェクトリスト

- DSPタイプリスト

MIDI インプリメンテーション チャート

ファンクション

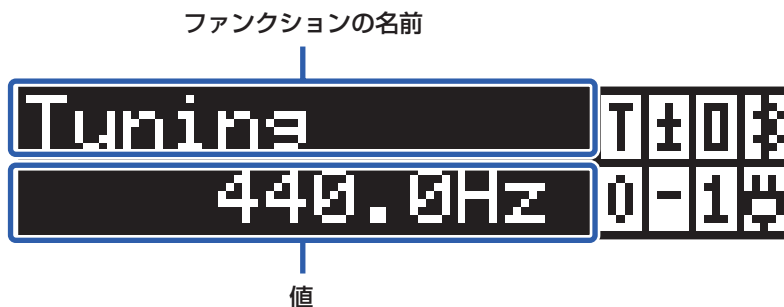
ファンクションを使って、この楽器の詳細設定ができます。設定内容は、次ページのファンクションリストをご覧ください。



操作方法

1. ファンクションを選ぶ。

設定したいファンクションの名前が出るまで、ファンクションボタンを何度か押します。たとえばチューニングを設定したいときは画面上段に「Tuning」を表示させます。



2. 値を設定する。

セレクトノブを回すと画面下段に表示されている値が変更できますので、好きな値を設定します。

3. エグジットボタンを押して、ファンクションモードを終了する。

ファンクションリスト

ファンクション	説明	バックアップ
Tuning チューニング	<p>他の楽器とアンサンブルする場合に、キーボードのチューニングを約 0.2 Hz 単位で調整します。 チューニングはドラム音色には掛かりません。</p> <p>設定値：427.0 Hz ~ 453.0 Hz 初期値：A3 = 440.0 Hz</p>	あり
EQ Type EQ タイプ	<p>本体スピーカーやヘッドフォン、外部スピーカーなどで鳴らすサウンドを、お好みの音質に設定します。</p> <p>Speaker: 楽器内部のスピーカーを使ってそのまま聞く場合に選びます。</p> <p>Boost: より迫力のある音質が得られます。ただし、選択する音色によってはほかの EQ タイプより、音がひずみやすくなります。</p> <p>LineOut: ヘッドフォンで聞く場合や、[LINE OUT] 端子に接続した外部機器から音を出す場合に選びます。ヘッドフォンを接続すると自動的にこの設定が選ばれます。</p> <p>Mild: 高域を抑えて音の印象を柔らかくします。</p> <p>初期値：Speaker</p>	あり
Modulation モジュレーション	<p>モジュレーションホイールをまわしたとき、ビブラート (Vibrato) のかかり具合を変更するか、エフェクトセクターで選択されているエフェクトのパラメーターを変更 (EfctCtrl) するのを設定します。</p> <p>設定値：Vibrato/ EfctCtrl 初期値：Vibrato</p>	なし
PB Range ピッチベンドレンジ	<p>ピッチベンドホイールをまわしたとき、ピッチがどれだけ変化するかを半音単位で設定します。</p> <p>設定値：00 ~ 12 初期値：02</p>	なし
Portamento ポルタメント	<p>ポルタメントとは、最初に弾いた鍵盤の音から次に弾いた鍵盤の音まで、ピッチを連続的に変化させる機能のことです。この機能のオン/オフを切り替えます。</p> <p>設定値：ON/OFF 初期値：OFF</p>	なし

ファンクション	説明	バックアップ
Porta Time ポルタメントタイム	<p>ポルタメントのピッチ変化にかかる時間、またはピッチ変化の速さを設定します。値を大きくするほどピッチの変化にかかる時間が長くなり、ピッチ変化の速さは遅くなります。</p> <p>設定値：000 ~ 127 初期値：064</p>	なし
DSP Type DSP タイプ	<p>DSP とは音色にかける効果のことで、さまざまなタイプが選べます。DSP タイプについては、DSP タイプリスト (26 ページ) をご覧ください。</p> <p>設定値：Dist.1/ Dist.2/ DSP Chrs/ Flanger/ Phaser/ Tremolo/ RotarySp/ LPF/ HPF 初期値：音色によって異なります</p>	なし
MIDI Select MIDI セレクト	<p>MIDI を送受信する機能または端子を選びます。</p> <p>Bluetooth[®] で送受信したいときは「BLE MIDI」、[MIDI] 端子で送受信したいときは「MiniMIDI」、[TO HOST] 端子で送受信したいときは「USB MIDI」を選びます。</p> <p>設定値：USB MIDI/ MiniMIDI/ BLE MIDI 初期値：BLE MIDI</p>	あり
MIDI CH MIDI チャンネル	<p>MIDI の送信チャンネルを設定します。</p> <p>設定値：01CH、02CH … 15CH、16CH、OFF 初期値：01CH</p>	あり
Local ローカル	<p>この楽器の鍵盤演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす (ON) か鳴らさない (OFF) かを設定します。</p> <p>通常、この楽器の鍵盤を弾くと本体内部の「音源」から音が出ます。この状態は「ローカルコントロールオン」と呼ばれます。「ローカルコントロールをオフ」にすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもこの楽器からは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いた演奏データは MIDI 送信されますので、この楽器の音を鳴らさず接続したコンピューターや MIDI 機器側の音源を鳴らしたいときなどに、ローカルコントロールをオフにします。</p> <p>設定値：ON/OFF 初期値：ON</p>	なし

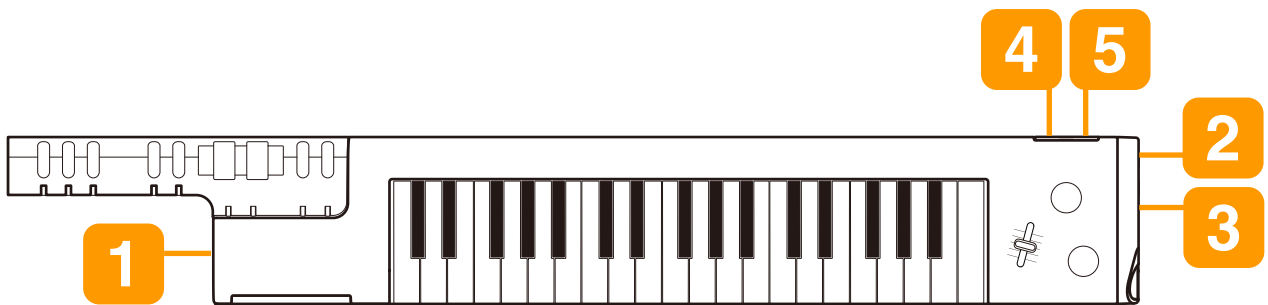
ファンクション	説明	バックアップ
LoopBack オーディオループバック	[TO HOST] 端子からのオーディオ入力音を、再度コンピューターなどに出力する (ON) かしない (OFF) かを設定します (12 ページ)。楽器での演奏音しか出力したくない場合はオフに設定します。 設定値: ON/OFF 初期値: ON	あり
Battery バッテリータイプ	電池の種類を選択します。アルカリ乾電池、マンガン乾電池のときは「 Alkaline 」、充電式ニッケル水素電池のときは「 Ni-MH 」を選びます。 設定値: Alkaline/Ni-MH 初期値: Alkaline	あり
Auto Off オートパワーオフ	オートパワーオフ機能の時間を設定します。 設定値: Off/ 5分 / 10分 / 15分 / 30分 / 60分 初期値: 30分	あり

端子の使い方

このキーボードには、他の機器をつなぐための端子が5つあります。何をつなげて、いつ、どのように使うのか、説明します。

⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小 (0) にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

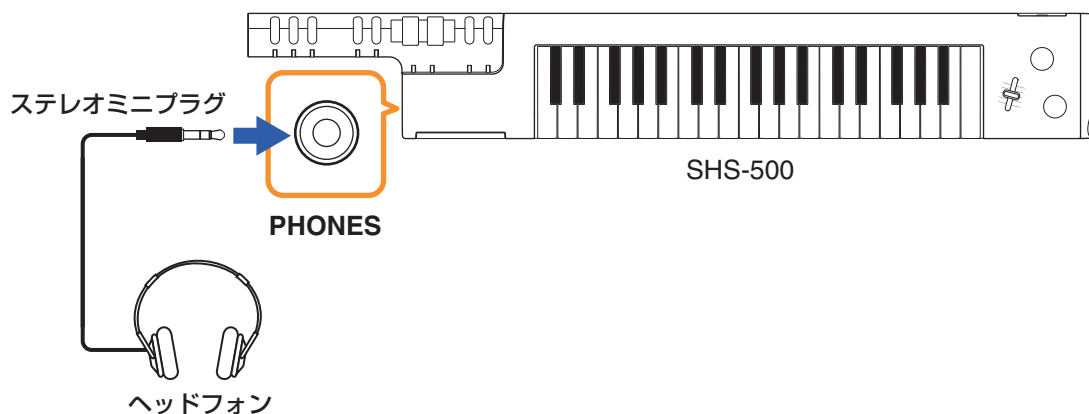


1 PHONES 端子はヘッドフォンで練習するとき

イヤフォンやヘッドフォンをつなぎます。3.5mm ステレオミニ出力端子です。ヘッドフォンを接続すると内蔵スピーカーからは音が出なくなります。ただし LINE OUT から音が出ます。

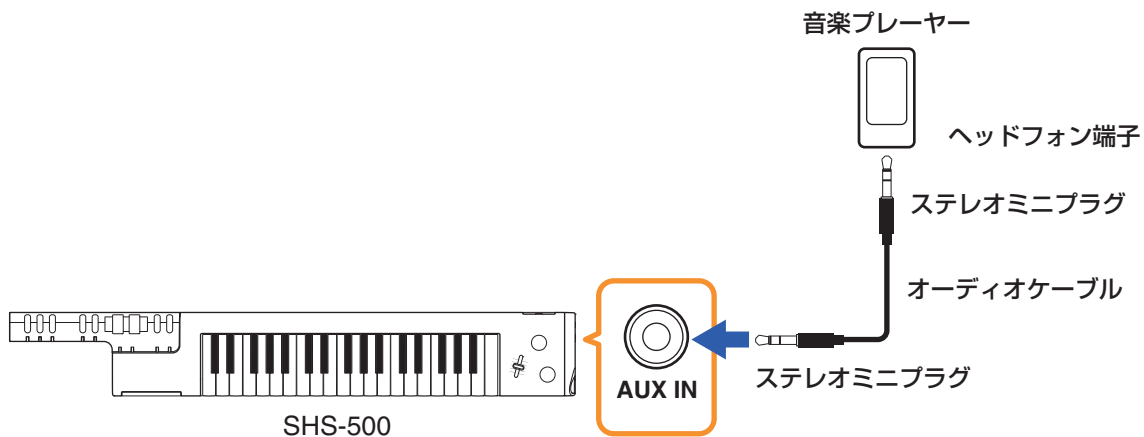
⚠ 注意

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



2 AUX IN 端子はカラオケと一緒に演奏するとき

携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器のヘッドフォン端子をつなぎます。3.5mm ステレオミニ入力端子です。たとえば、音楽プレーヤーでカラオケ音源を流しながら鍵盤を弾いて演奏するときはこの端子を使います。オーディオ機器の音も、キーボード本体の内蔵スピーカーから一緒に聴こえてきます。



注記

機器の損傷を防ぐために、オーディオ機器 → キーボードの順に電源を入れてください。電源を切るときは、この逆の順で行なってください。

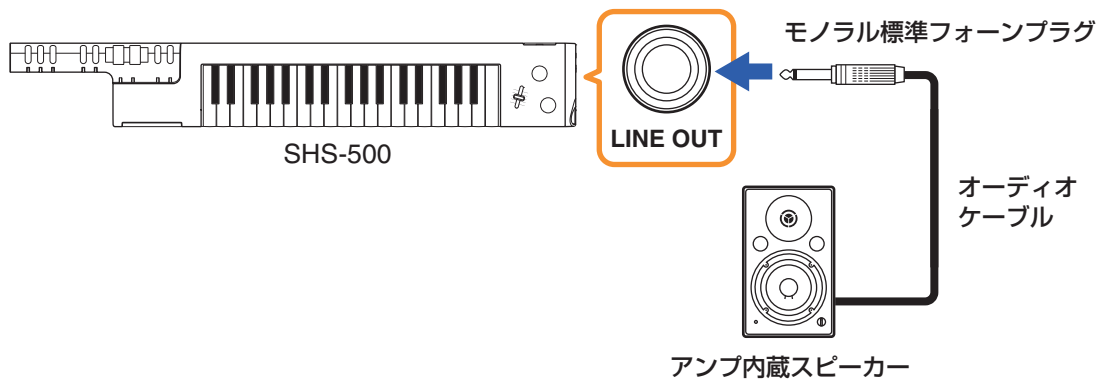
NOTE

- オーディオ機器の音量は、オーディオ機器側で調整してください。
- 音楽プレーヤー側のヘッドフォン端子とオーディオケーブルのプラグの形状が合わないときは、変換プラグを使って接続してください。
- オーディオケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

3 LINE OUT 端子はライブで大音量を出すとき

アンプ内蔵スピーカーなどの外部機器とつないで、外部機器から大きな迫力のある音を出すときに使います。6.3mm モノラル標準フォーン出力端子です。AUX IN から入った音も一緒に出ます。

LINE OUT 端子を使うときは、「EQ タイプ」([3 ページ](#)) の設定値を LineOut にしてください。



注記

- 機器の損傷を防ぐために、キーボード → 外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行なってください。オートパワーオフ機能により、自動的に電源が切れることがあります。外部機器を接続した状態で、一定時間本体を操作しないときは、この手順に従って手動で電源を切るか、オートパワーオフを解除してください([5 ページ](#))。
- LINE OUT から出した音を、AUX IN に戻さないでください (LINE OUT から外部オーディオ機器に接続したときは、その機器からふたたびキーボード本体の AUX IN に接続しないでください)。キーボード本体の AUX IN から入った音はそのまま LINE OUT から出ますので、オーディオ系の発振が起こり、正常に再生されないばかりでなく、両機器の故障の原因になります。

NOTE

- LINE OUT に外部機器を接続した状態でも、内蔵スピーカーからは音が出ます。
- LINE OUT の音量は、キーボードのマスターボリュームを回しても変化しません。
- アンプ側の入力端子がピン端子など、形状が合わないときは、変換プラグを使って接続してください。
- オーディオケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

4 TO HOST 端子はスマートデバイスやコンピューターと使うとき

楽器とスマートデバイスやコンピューターを接続すると、1本のUSBケーブルでMIDIデータや高音質のオーディオデータをやりとりできるようになり、楽器でできることの幅が広がります。

NOTE

スマートデバイスをご使用の場合は変換アダプターが必要です。[10ページ](#)のイラストをご覧ください。

オーディオデータをやりとりする—USB オーディオインターフェース機能

オーディオデータをデジタルで送受信すると、一例として次のことができます。

- **オーディオデータの曲を高音質で再生できる**

[AUX IN] 端子での接続と比べて、音質の劣化が少なくクリアな音質で楽しめます。

- **録音ソフトや音楽制作ソフトで、楽器の演奏をオーディオデータとして録音できる**

録音したデータは、コンピューターやスマートデバイスで再生できます。

>> [10ページ](#)

MIDI データをやりとりする

演奏情報（MIDI データ）を送受信すると、一例として次のことができます。

- **MIDI データの曲を再生できる**

ヤマハウェブサイトで購入することができます。

- **楽器の演奏を MIDI データとして録音できる**

MIDI データは音楽制作ソフトで音色や音の高さなどが編集できます。

NOTE

MIDI の基本については、ヤマハサイト (<https://jp.yamaha.com/support/>) からダウンロードできる「MIDI 入門」をご覧ください。

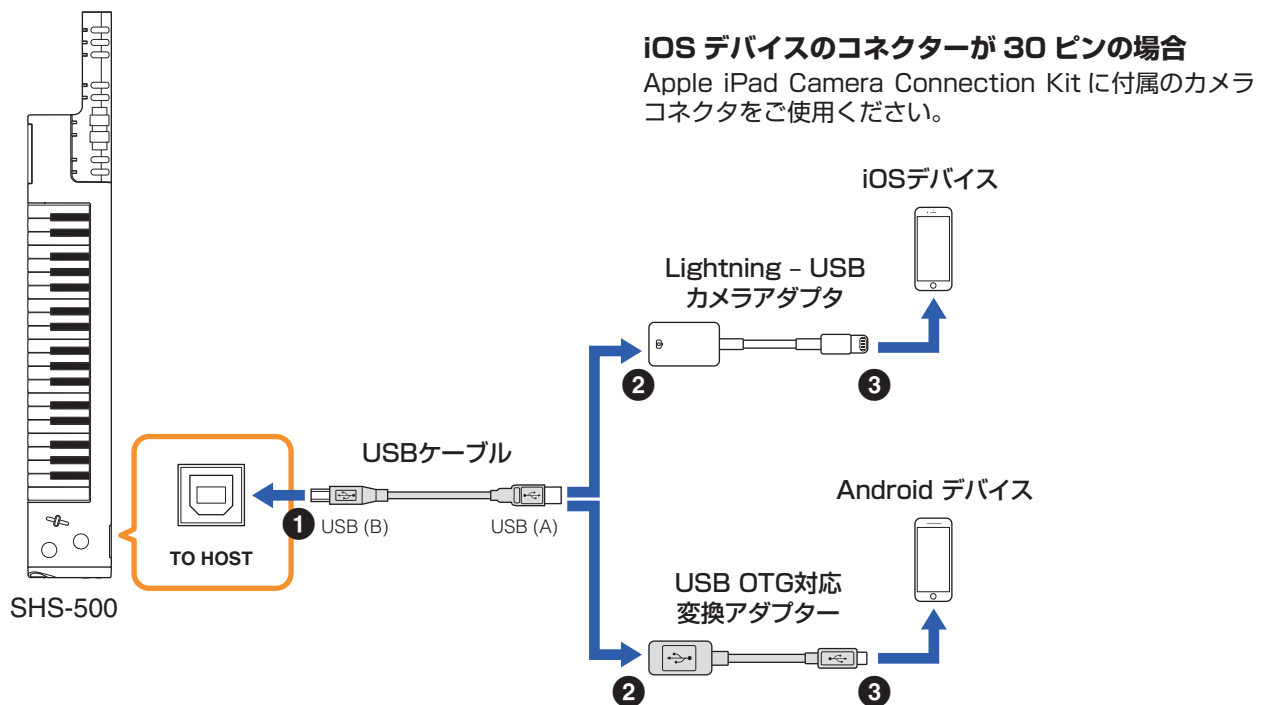
>> [13ページ](#)

オーディオデータをやりとりする—USB オーディオインターフェイス機能

オーディオデータ（曲）の入ったスマートデバイスやコンピューターをUSBケーブルでつなぎます（オーディオデータはBluetooth接続ではやりとりできません）。スマートデバイスやコンピューター内のオーディオデータを楽器のスピーカーから鳴らしたり、楽器の鍵盤演奏をスマートデバイスやコンピューターにオーディオ録音できます。

NOTE

オーディオデータと一緒にMIDIデータも同時出力されます。MIDIデータをTO HOST端子から入出力するには「MIDIセレクト」（[4ページ](#)）の設定値をUSB MIDIにしてください。



コンピューターと接続してUSBオーディオインターフェイス機能を使うこともできます。Windowsの場合、専用のUSBドライバー「Yamaha Steinberg USB Driver」が必要です。コンピューターとの接続については、ヤマハサイト (<https://jp.yamaha.com/support/>) からダウンロードできる電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

NOTE

- この楽器は、ヤマハのファイル転送ソフト「ミュージックソフトダウンローダー」に対応していませんので、ファイル転送はできません。
- オーディオデータをやりとりするときは、ファンクション「MIDI セレクト」の設定は不要です。

注記

Bluetooth 接続時にアプリを完全終了せずに、USB ケーブル接続に切り替えると、USB ケーブル接続できません。この場合、キーボードの電源を入れ直したあと、最初から接続をやり直してください。

オーディオデータの再生

1. キーボードの電源を切った状態で、スマートデバイスやコンピューターをキーボードに USB ケーブルで接続する。

イラスト ([10 ページ](#)) の手順数字に従って、順番に接続してください。

2. キーボードの電源を入れる。

3. スマートデバイスやコンピューターでオーディオ曲を鳴らす。

オーディオ曲が接続したキーボードのスピーカーから再生されます。

オーディオデータの録音

1. キーボードの電源を切った状態で、スマートデバイスやコンピューターをキーボードに USB ケーブルで接続する。

イラスト ([10 ページ](#)) の手順数字に従って、順番に接続してください。

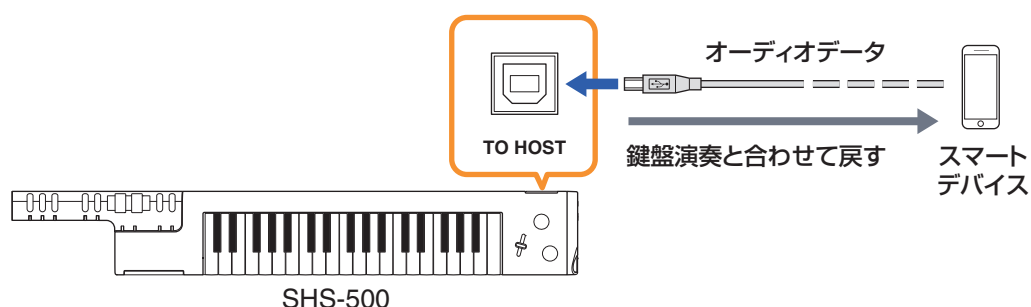
2. キーボードの電源を入れる。

3. スマートデバイスやコンピューター上で録音ソフトや音楽制作ソフトを起動し、キーボードの演奏をオーディオデータとして録音する。

録音方法はそれぞれのソフトの説明書をご覧ください。アプリ Chord Tracker に録音することもできます。

オーディオループバック

TO HOST 端子からのオーディオ入力音を、楽器の演奏音に重ねて再度スマートデバイスやコンピュータに出力する（オン）かしない（オフ）かを、ファンクション「オーディオループバック」で設定できます（[5 ページ](#)）。初期設定はオンです。楽器での演奏音しか出力したくない場合はオフに設定します。



注記

DAW（Digital Audio Workstation）などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用する場合、設定によっては大きな音が発生することがあるため、オーディオループバック（[5 ページ](#)）をオフにしてご使用ください。

TO HOST 端子ご使用時の注意

TO HOST 端子でコンピュータと接続するときは、コンピュータや本体の停止（ハングアップ）によるデータの損失を防ぐため、以下のことを行なってください。

注記

- USB ケーブルは AB タイプで、3 メートル未満のものをご使用ください。USB 3.0 ケーブルは、使用できません。
- 本体の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。（鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。）
- 本体の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

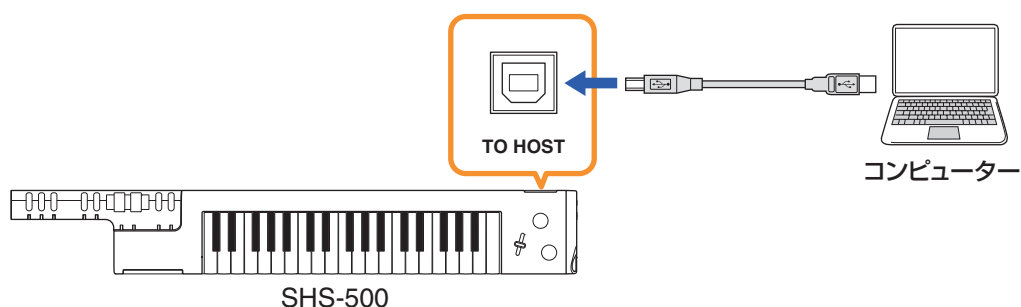
コンピュータや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピュータを再起動するか、本体の電源を入れ直してください。

MIDI データをやりとりする

録音ソフトや音楽制作ソフトの入ったコンピューターやスマートデバイスと USB ケーブルで接続すると、楽器の演奏を MIDI データの曲として録音したり、録音した曲をこの楽器で再生したりできます。




スマートデバイスの接続方法は [10 ページ](#) と同じです。

MIDI データをやりとりするときは、使用する端子（この場合 TO HOST 端子）と、ファンクション「MIDI セレクト」の値が同じである必要があります。



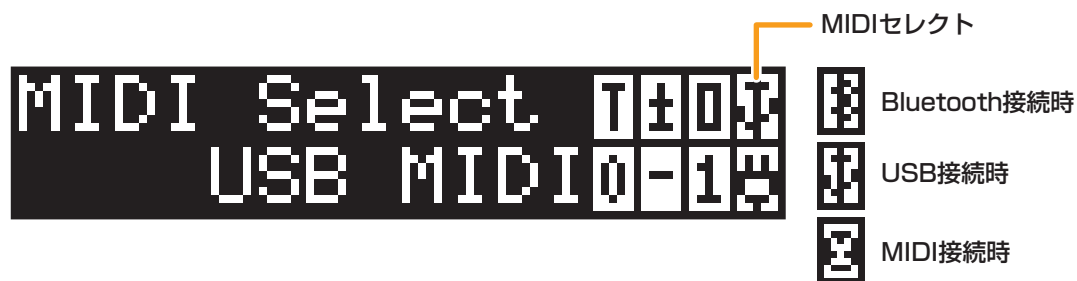
NOTE

この楽器は、ヤマハのファイル転送ソフト「ミュージックソフトダウンローダー」に対応していませんので、ファイル転送はできません。

1. 画面右上「MIDI セレクト」のアイコンが、 (USB 接続時) であることを確認します。 であれば手順 2 へ進みます。 でない場合は下記の方法で設定します。

1-1 ファンクションボタンを何度か押して画面上段に「MIDI Select」を選択します。

1-2 セレクトノブで、画面下段に「USB MIDI」(TO HOST 端子) を選択します。

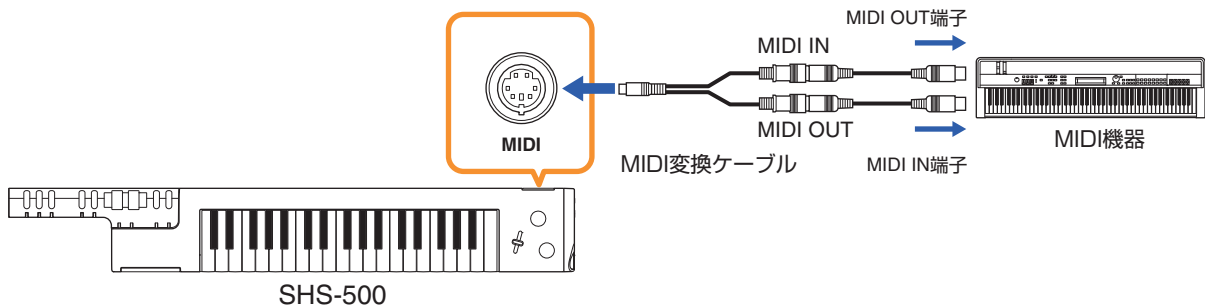


2. エグジットボタンを押してファンクションモードを抜けます。

3. コンピューターやスマートデバイスを接続します。

5 MIDI 端子は MIDI キーボードとして使うとき

MIDI 機器と接続します。この楽器の鍵盤を弾いて、MIDI 機器の音源を鳴らしたりできます。付属の MIDI 変換ケーブルと別売の MIDI ケーブルを使って接続します。MIDI データをやりとりするときは、使用する端子（この場合 MIDI 端子）と、ファンクション「MIDI セレクト」の値が同じである必要があります。



NOTE

この楽器は、ヤマハのファイル転送ソフト「ミュージックソフトダウンローダー」に対応していませんので、ファイル転送はできません。

1. 画面右上「MIDI セレクト」のアイコンが、 (MIDI 接続時) であることを確認します。 であれば手順 2 へ進みます。 でない場合は下記の方法で設定します。

1-1 ファンクションボタンを何度か押して画面上段に「MIDI Select」を選択します。

1-2 セレクトノブで、画面下段に「MiniMIDI」(MIDI 端子) を選択します。



2. エグジットボタンを押してファンクションモードを抜けます。

3. MIDI 機器を接続します。



MIDI 送信チャンネル、ローカルコントロール

ファンクションを使って、MIDI 送信チャンネルを指定したり ([4 ページ](#))、ローカルコントロールのオン / オフを設定できます ([4 ページ](#))。

困ったときは

- Q** [⏻] (スタンバイ / オン) スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、ポツンという音がする。
- A** 故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
- Q** この楽器の近くで携帯電話を使っている (または呼び出し音が鳴っている) ととき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。
- A** この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
- Q** スマートデバイスのアプリと楽器を一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音 (ノイズ) が出る。
- A** スマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてから、Bluetooth をオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- Q** 鍵盤を押さえても、音が鳴らない。
- A** [PHONES] 端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていませんか？ヘッドフォン (プラグ) を抜いてください。
- A** ファンクションの「ローカル」 (Local) がオフ (OFF) に設定されていませんか？ローカルの設定をオン (ON) にしてください ([4 ページ](#))。
- Q** 同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。
- Q** 鍵盤演奏するとソングの演奏音が途中で途切れる。
- A** この楽器の最大同時発音数 (48 音) を越えています。音色とソングを含めて最大 48 音の範囲で鳴らすことができます。48 音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
- Q** TO HOST につないだスマートデバイスの音が鳴らない、小さい。
- A** スマートデバイスの音量の設定が下がっていませんか？スマートデバイスの音量の設定を確認してください。

Q 押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。

A 故障ではありません。この楽器で採用している AWM 音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにわけて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。

Q 音量が小さくなった。音質が劣化した。**Q ソングが止まる。****Q 突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。**

A 電池が消耗しています。6 本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。

Q 電源が勝手に切れる。

A 故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです ([5 ページ](#))。オートパワーオフ機能を使用しない場合は、ファンクション ([2 ページ](#)) でオートパワーオフを OFF に設定してください。

Q [⏻] (スタンバイ / オン) スイッチを押して電源を入れたとき、電源がすぐに切れる。

A 過電圧保護機能が働いたためです。指定以外の電源アダプターを使用しているか、電源アダプターが壊れている可能性があります。電源アダプターは必ず指定のものをご使用ください。指定の電源アダプターについては、取扱説明書の仕様ページをご確認ください。電源アダプターが壊れている可能性がある場合は、お買い上げ店、または取扱説明書巻末のヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

Q AUX IN につないだオーディオ機器の音が鳴らない、音が小さい。

A オーディオ機器の音量はオーディオ機器側で調整します。接続しているオーディオ機器のボリュームを上げてください。

A 抵抗の入っていないオーディオケーブルをご利用ください。

Q Bluetooth 接続できない。

- A** アプリ Chord Tracker がインストールされているスマートデバイスの Bluetooth 機能がオンになっているか確認してください。
- A** 別のスマートデバイスとキーボードが Bluetooth 接続されていないか確認してください。この場合は、スマートデバイスの Bluetooth 機能をオフにしてから、使用したいスマートデバイスと接続し直してください。
- A** キーボードとコンピューターを USB ケーブルで接続しているあいだは、キーボードとスマートデバイスを Bluetooth 接続できません。Bluetooth 接続するときは、その他の機器を USB ケーブルで接続しないでください。
- A** お使いのスマートデバイスがアプリ Chord Tracker に対応しているか以下のサイトでご確認ください。
<https://jp.yamaha.com/products/apps/>

Q USB ケーブルで接続したがデータのやりとりができない。

- A** Bluetooth 接続時にアプリを終了させていないと、USB ケーブルで接続しても機能しないことがあります。キーボードの電源を入れ直して、接続をやり直してください。

Q 外部機器とオーディオデータがやりとりできない。

- A** オーディオデータは Bluetooth ではやりとりできません。USB ケーブルで接続してください。

Q ディ스플레이に「！」と表示される。

- A** USB 機器に過電流が流れたため、USB 機器との通信を停止しました。USB 機器を [TO HOST] 端子から抜き、楽器の電源を入れ直してください。

ヤマハウェブサイト「よくあるお問い合わせ (Q&A)」 (<http://yamaha.custhelp.com/>) もご確認ください。

楽器音色リスト

セレクトノブで選べる音色です。

No.	音色名	画面表示	MSB	LSB	PC1
001	鋸波リード 1	SawLead1	104	20	91
002	鋸波リード 2	SawLead2	0	104	82
003	クアックリード	QuackLd	0	112	85
004	ブライトディケイ	BriteDcy	104	21	85
005	矩形波リード	SquareLd	0	112	81
006	アンダーハイム	UndrHeim	104	51	88
007	アナログン	Analogon	104	52	82
008	シンセブラス	SynBrass	0	113	64
009	エレクトリックピアノ	E.Piano	104	28	5
010	DXエレクトリックピアノ	DXPiano	0	112	6
011	エレクトリックギター	E.Guitar	104	3	31
012	ジャズギター	J.Guitar	104	0	27
013	アコースティックギター	A.Guitar	0	117	26
014	エレクトリックベース	E.Bass	104	6	34
015	スラップベース	SlapBass	0	112	37
016	シンセベース	SynBass	0	112	39
017	DXベース	DXBass	0	118	40
018	ピアノ	Piano	0	112	2
019	ピアノ & スtrings	Pno&Strs	104	39	1
020	ピアノ & パッド	Pno&Pad	104	40	1
021	エアコーラス	AirChoir	0	112	55
022	Strings	Strings	0	116	49
023	ブラス	Brass	0	117	63
024	トランペット	Trumpet	0	115	57
025	フルート	Flute	0	115	74
026	アルトサックス	AltoSax	104	2	66
027	テナーサックス	TenorSax	104	3	67
028	ハーモニカ	Harmnica	0	112	23
029	ハウスキット	HouseKit	127	0	65
030	パワーキット	PowerKit	127	0	88

音色リストの No. 029、030 はドラムキットです。ドラムキットを選ぶと、ドラムや打楽器などの楽器音や、効果音などが鍵盤に割り当てられるので、打楽器音を使った演奏ができます。鍵盤への割り当てはドラムキットリスト ([20 ページ](#)) をご覧ください。



ドラムキットリスト

この楽器の鍵盤 (Keyboard) の Note No. (Note#) と Note は、MIDI の Note No. と Note よりも 1 オクターブ上になります。たとえば、ハウスキットの「キック T9 5 (Note No.48/Note C2)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No. 36/Note C1 をこの楽器に送信します。

Keyboard			MIDI			1 org	127-000-65	127-000-88
						0 org	127-000-64	127-000-87
Note#	Note	Note	Note#	Note	Note	Note	ハウスキット	パワーキット
25	C# 0	C#0	13	C# -1	C#-1	Wキック	スルドミュート	
26	D 0	D0	14	D -1	D-1	スルドオープン	スルドオープン	
27	D# 0	D#0	15	D# -1	D#-1	ハイキュー	ハイキュー	
28	E 0	E0	16	E -1	E-1	ウィップスラップ	ウィップスラップ	
29	F 0	F0	17	F -1	F-1	スクラッチ H	スクラッチ H	
30	F# 0	F#0	18	F# -1	F#-1	スクラッチ L	スクラッチ L	
31	G 0	G0	19	G -1	G-1	Wノイズアップ	フィンガースナップ	
32	G# 0	G#0	20	G# -1	G#-1	タムT8 3	クリックノイズ	
33	A 0	A0	21	A -1	A-1	ハイハットオープンT8 1	メトロノームクリック	
34	A# 0	A#0	22	A# -1	A#-1	タムT8 6	メトロノームベル	
35	B 0	B0	23	B -1	B-1	クラッシュT8	シーククリック L	
36	C 1	C1	24	C 0	C0	キックT9 4	シーククリック H	
37	C# 1	C#1	25	C# 0	C#0	スネアT8リム	ブラッシュタップ	
38	D 1	D1	26	D 0	D0	スネアT8 5	ブラッシュスワール	
39	D# 1	D#1	27	D# 0	D#0	クラブアナログSm	ブラッシュスラップ	
40	E 1	E1	28	E 0	E0	スネアガラージ L	ブラッシュタップスワール	
41	F 1	F1	29	F 0	F0	スネアロック ロールディストーション	スネアロール	
42	F# 1	F#1	30	F# 0	F#0	スネアT9 3	カスタンネット	
43	G 1	G1	31	G 0	G0	スネアT8 1	スネアソフトパワー	
44	G# 1	G#1	32	G# 0	G#0	スネアT9 5	スティックス	
45	A 1	A1	33	A 0	A0	キックT9 1	キックアンビエント+	
46	A# 1	A#1	34	A# 0	A#0	スネアT9ゲート	オープンリムショットパワー	
47	B 1	B1	35	B 0	B0	キックT9 2	キックパワーオープン	
48	C 2	C2	36	C 1	C1	キックT9 5	キックパワークローズ	
49	C# 2	C#2	37	C# 1	C#1	スネアT9リム	サイドスティックパワー	
50	D 2	D2	38	D 1	D1	スネアT9 1	スネアパワー	
51	D# 2	D#2	39	D# 1	D#1	クラブT9	ハンドクラブパワー	
52	E 2	E2	40	E 1	E1	スネアT9 2	スネアラフ	
53	F 2	F2	41	F 1	F1	タムT9 1	タムパワー 1	
54	F# 2	F#2	42	F# 1	F#1	ハイハットクローズT8 1	ハイハットクローズパワー	
55	G 2	G2	43	G 1	G1	タムT9 2	タムパワー 2	
56	G# 2	G#2	44	G# 1	G#1	ハイハットペダルT9	ハイハットペダルパワー	



楽器音色リスト

	Keyboard			MIDI			1 org	127-000-65	127-000-88
	Note#	Note	Note	Note#	Note	Note	0 org	127-000-64	127-000-87
								ハウスキット	パワーキット
A2	57	A 2	A2	45	A 1	A1	タムT9 3	タムパワー 3	
A#2	58	A# 2	A#2	46	A# 1	A#1	ハイハットオープンT9	ハイハットオープンパワー	
B2	59	B 2	B2	47	B 1	B1	タムT9 4	タムパワー 4	
C3	60	C 3	C3	48	C 2	C2	タムT9 5	タムパワー 5	
C#3	61	C# 3	C#3	49	C# 2	C#2	クラッシュT9	クラッシュシンバルアコースティック 1	
D3	62	D 3	D3	50	D 2	D2	タムT9 6	タムパワー 6	
D#3	63	D# 3	D#3	51	D# 2	D#2	ライドT9	ライドシンバルアコースティック 1	
E3	64	E 3	E3	52	E 2	E2	クラッシュシンバル 4	チャイニーズシンバルアコースティック	
F3	65	F 3	F3	53	F 2	F2	ライドシンバルカップ 2	ライドシンバルカップアコースティック	
F#3	66	F# 3	F#3	54	F# 2	F#2	タンバリンヒット	タンバリン	
G3	67	G 3	G3	55	G 2	G2	クラッシュシンバル 3	スプラッシュシンバルアコースティック	
G#3	68	G# 3	G#3	56	G# 2	G#2	カウベル 1	カウベル	
A3	69	A 3	A3	57	A 2	A2	クラッシュシンバル 2	クラッシュシンバルアコースティック 2	
A#3	70	A# 3	A#3	58	A# 2	A#2	ビブラスラップ	ビブラスラップ	
B3	71	B 3	B3	59	B 2	B2	ライドシンバル 3	ライドシンバルアコースティック 2	
C4	72	C 4	C4	60	C 3	C3	ボンゴHオープン1F	ボンゴH	
C#4	73	C# 4	C#4	61	C# 3	C#3	ボンゴLオープン3F	ボンゴL	
D4	74	D 4	D4	62	D 3	D3	コンガハイティップ	コンガHミュート	
D#4	75	D# 4	D#4	63	D# 3	D#3	コンガハイスラップオープン	コンガHオープン	
E4	76	E 4	E4	64	E 3	E3	コンガハイオープン	コンガL	
F4	77	F 4	F4	65	F 3	F3	ティンバレスH	ティンバレスH	
F#4	78	F# 4	F#4	66	F# 3	F#3	ティンバレスL	ティンバレスL	
G4	79	G 4	G4	67	G 3	G3	アゴゴH	アゴゴH	
G#4	80	G# 4	G#4	68	G# 3	G#3	アゴゴL	アゴゴL	
A4	81	A 4	A4	69	A 3	A3	カバサハウス	カバサ	
A#4	82	A# 4	A#4	70	A# 3	A#3	マラカススラー	マラカス	
B4	83	B 4	B4	71	B 3	B3	Fxガン 2	サンバホイッスルH	
C5	84	C 5	C5	72	C 4	C4	Fxガン 1	サンバホイッスルL	
	85	C# 5	C#5	73	C# 4	C#4	アナログシェーカー H	ギロショート	
	86	D 5	D5	74	D 4	D4	アナログシェーカー L	ギロロング	
	87	D# 5	D#5	75	D# 4	D#4	クラベスT8	クラベス	
	88	E 5	E5	76	E 4	E4	ハイキュー 1	ウッドブロックH	
	89	F 5	F5	77	F 4	F4	ハイキュー 2	ウッドブロックL	
	90	F# 5	F#5	78	F# 4	F#4	スクラッチ L	クイーカミュート	
	91	G 5	G5	79	G 4	G4	スクラッチ L 2	クイーカオープン	
	92	G# 5	G#5	80	G# 4	G#4	トライアングルミュート	トライアングルミュート	
	93	A 5	A5	81	A 4	A4	トライアングルオープン	トライアングルオープン	
	94	A# 5	A#5	82	A# 4	A#4	アナログシェーカー	シェーカー	

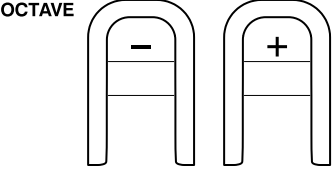
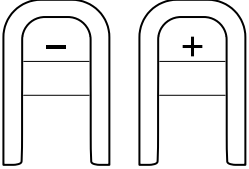
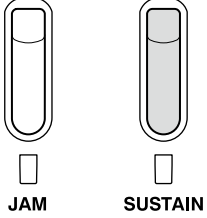
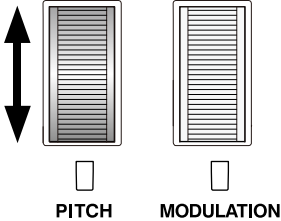
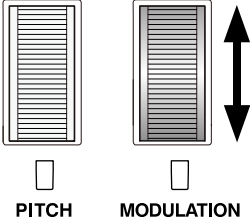


楽器音色リスト

Keyboard			MIDI			1 org	127-000-65	127-000-88
						0 org	127-000-64	127-000-87
Note#	Note	Note	Note#	Note	Note	ハウスキット	パワーキット	
95	B 5	B5	83	B 4	B4	スレイベル	ジングルベル	
96	C 6	C6	84	C 5	C5	ベルツリー	ベルツリー	
97	C# 6	C#6	85	C# 5	C#5	スネアヒップ 1		
98	D 6	D6	86	D 5	D5	スネアヒップ 2		
99	D# 6	D#6	87	D# 5	D#5	ヴォックスベル		
100	E 6	E6	88	E 5	E5	スネアブレイク		
101	F 6	F6	89	F 5	F5	ヴォックスALK		
102	F# 6	F#6	90	F# 5	F#5	スネアFx		
103	G 6	G6	91	G 5	G5	キックFx/ハマー		

: No sound




音色パラメーター

パラメーター名	説明
<p>オクターブ</p> <p>OCTAVE</p> 	<p>鍵盤演奏での音の高さ（ピッチ）を1オクターブ単位で上げ下げします。</p> <p>オクターブ変更は、次の押鍵から有効になります。発音中の音には反映しません。</p> <p>設定値：-2 ~ +2</p> <p>初期値：音色による</p>
<p>トランスポーズ</p> <p>TRANSPOSE</p> 	<p>音の高さを半音単位で上げ下げします。</p> <p>トランスポーズ変更は、次の押鍵から有効になります。発音中の音には反映しません。</p> <p>設定値：-12 ~ +12</p> <p>初期値：0</p>
<p>サステイン</p> 	<p>押しているあいだ演奏音が伸びます。演奏のサステインをオン / オフします。</p> <p>設定値：ON、OFF</p> <p>初期値：OFF</p>
<p>ピッチベンド</p> 	<p>音の高さ（ピッチ）をなめらかにコントロールします。ファンクションの「PB Range」でピッチベンドの变化幅を変更できます</p> <p>設定値：0 ~ 16383 (MIDI 値)</p> <p>初期値：8192 (CENTER)</p>
<p>モジュレーション</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 発音にビブラートを加えます。 エフェクトセレクターで選択した項目のパラメーターを変化させます（ファンクションの「Modulation」の値を「EfctCtrl」に設定した場合）。 <p>設定値：0 ~ 127</p> <p>初期値：0</p>

エフェクトリスト

エフェクトの一覧です。エフェクトセクターで選び、エフェクトコントロールノブで設定値を変更します。

エフェクト名	説明
<p>FILTER</p>  <p>フィルター</p> <p>設定値</p> <p>NOTE エフェクト名と設定値は数秒表示されたら消えます。以下のエフェクトを選んだときも同様です。</p>	<p>特定の周波数帯域の音声信号だけを通過させ、他の周波数帯域の音声信号をカットすることで、音質を変化させる機能です。シンセサイザーのような電子的なサウンドを楽しめます。</p> <p>フィルターの設定値を上げ下げすると、フィルターが持つ2つの内部パラメーター「カットオフ」と「レゾナンス」の値が連動して上げ下げされます。</p> <p>カットオフとは： フィルターのカットオフ周波数（どの周波数帯の信号以上をカットするか）を設定して、音の明るさを調整します。設定値が大きいほど、音が明るくなります。</p> <p>レゾナンスとは： レゾナンス（カットオフ周波数近くの音声信号を持ち上げ、音にクセをつける）効果を増減します。設定値が大きいほど、クセのある音になります。</p> <p>音色が変更されると、カットオフ 64、レゾナンス 64 に戻ります。</p> <p>設定値：0 ~ 127 初期値：カットオフ 64、レゾナンス 64</p>
<p>DYNAMICS</p>  <p>ダイナミクス</p> <p>設定値</p>	<p>鍵盤のタッチ感度を調整します。設定値が小さいほど、強弱を効かせた演奏ができます。設定値を大きくすると、均一に大きな音で目立つ演奏ができます。</p> <p>音色が変更されると、初期設定に戻ります。</p> <p>設定値：0 ~ 127 初期値：選んだ音色によって異なります</p>

エフェクト名	説明
<p>REVERB</p>  <p>リバーブ 設定値</p>	<p>リバーブは、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感を得られる機能です。設定値が大きいほど、効果が深くなります。音色が変更されると、初期設定に戻ります。</p> <p>設定値：0 ~ 127 初期値：選んだ音色によって異なります</p>
<p>CHORUS</p>  <p>コーラス 設定値</p>	<p>コーラスは、同時に複数のパートを演奏しているような厚みを得られる機能です。設定値が大きいほど、効果が深くなります。音色が変更されると、初期設定に戻ります。</p> <p>設定値：0 ~ 127 初期値：選んだ音色によって異なります</p>
<p>OTHER</p>  <p>アザー(その他) 設定値</p>	<p>ファンクションで選ばれている DSP タイプのかかり具合を調整します。音色が変更されると、初期設定に戻ります。初期設定では、音色ごとにおすすめの DSP タイプが設定されています。</p> <p>起動時と DSP Parameter が 0 のとき、DSP オフになり、設定値を変化させると DSP オンになります。</p> <p>設定値：0 ~ 127 初期値：選んだ音色によって異なります</p>

NOTE

モジュレーションホイールがエフェクトコントロールノブと同じ働きをするように設定している場合、最後に動かしたほうの設定値が優先されます。たとえば、モジュレーションホイールを最大に回しても、エフェクトコントロールノブをそのあと最小にした場合は、設定値は最小になります。

DSP タイプリスト

DSP タイプ	画面表示	説明
ディストーション 1	Dist.1	音を意図的に歪ませるエフェクトです。ロックやブルース等で使われる、パワフルなエレクトリックギターサウンドにかかせません。ディストーション 1 と 2 では異なるタイプのサウンドをシミュレートしています。ノブで歪み具合を調整します。
ディストーション 2	Dist.2	
DSPコーラス	DSP Chrs	音にうねりを加えることによって、自然な広がりを作るエフェクトです。ノブでうねりの速度を調整します。
フランジャー	Flanger	音にうねりを加えることによって、独特なジェットサウンドを作るエフェクトです。ノブでうねりの速度を調整します。
フェーザー	Phaser	位相（フェーズ）を周期的に変化させた音を加えることにより、コーラスやフランジャーとは違ったうねりを作るエフェクトです。ノブで周期の早さを調整します。
トレモロ	Tremolo	音量を周期的に変化させるエフェクトです。ノブで周期の早さを調整します。
ロータリースピーカー	RotarySp	回転するホーンによって独特な音の広がりをつくるロータリースピーカーをシミュレートしたエフェクトです。ノブで回転の速度を調節します。
ローパスフィルター	LPF	音の周波数成分のうち、カットオフ周波数以上の成分をカットします。ノブでカットオフ周波数を調整します。
ハイパスフィルター	HPF	音の周波数成分のうち、カットオフ周波数以下の成分をカットします。ノブでカットオフ周波数を調整します。

MIDI インプリメンテーションチャート



Yamaha

[Digital Keyboard]
Model SHS-500RD、SHS-500B MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 26-Feb-2019
Version : 1.01

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 - 16 1 - 16	1 - 16 ×	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 × *****	3 × ×	
ノートナンバー	音域	12 - 120 *****	0 - 127 0 - 127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v=1-127 × 9nH, v=0	○ 9nH, v=1-127 ×	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンド		○	○	
	0, 32 1 5, 65 6 38 7, 10 コントロールチェンジ 11 64 71, 72, 73, 74 84 91, 93 96, 97 100, 101	× ○ × × × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーション ポルタメント データエントリー(MSB) データエントリー(LSB) メインボリューム、パン エクスプレッション サステイン サウンドコントローラー ポルタメントコントロール エフェクトデプス RPNデータインクリメント、デクリメント RPN LSB、MSB
プログラムチェンジ	設定可能範囲	× *****	○ 0 - 127	
システム・エクスクルーシブ		○	○	
コモン	: ソングポジション : ソングセレクト : チューン	× × ×	× × ×	
システム リアルタイム	: クロック : コマンド	○ ○	× ×	
Aux メッセージ	: オール・サウンド・オフ : リセットオールコントロール : ローカルON/OFF : オールノートオフ : オールノートオフ : オール・サウンド・オフ : アクティブセンシング : リセット	○ ○ × ○ × × ○ ×	○ (120) ○ (121) ○ (122) ○ (123) ○ (124-125) ○ (126, 127) ○ ×	
備考				

モード1: オムニ・オン、ポリ
モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ
モード4: オムニ・オフ、モノ

○: あり
×: なし

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。